TOA株式会社

2019年3月期 第2四半期決算説明会

TOA
Smiles for the Public

2018年11月21日

将来の見通しについて

当社が開示する情報の中には将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、発表時点での情報に基づく予測であり、経済情勢等の変化によって大きく異なる結果となる場合があります。当社としましては、将来見通しの精度を高めるための努力をするとともに、見通しの変化が生じる場合には適宜開示いたします。

当社ホームページは投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断においておこなわれるようお願いいたします。

当情報の正確さや掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、なんらそれらの正確性を保証し、または責任を負うものではありませんのでご了承ください。

Smiles for the Public

2019年3月期 第2四半期の業績

執行役員 管理本部長 谷口方啓

決算業績のまとめ

<2019年3月期 第2四半期業績の概況報告>

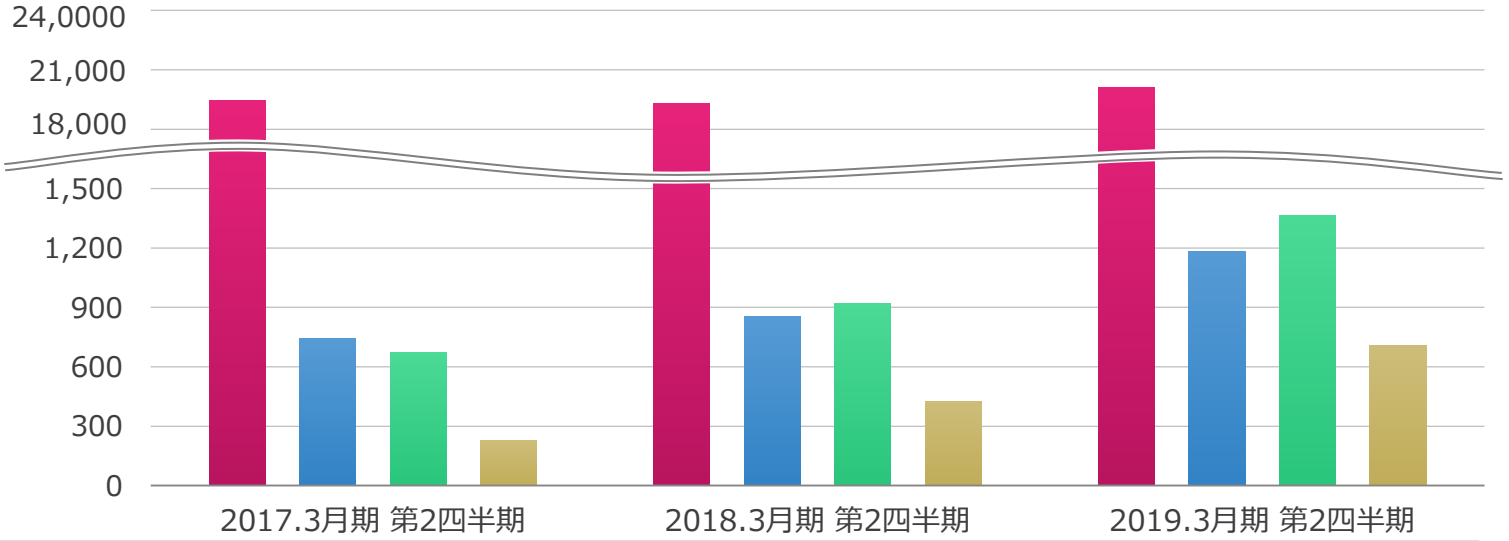
・2019年3月期 第2四半期連結累計期間における業績は、売上においては当初の計画値を下回ったものの増収となり、利益については一部費用発生が第3四半期以降になったこともあり、計画を上回り増益

・国内では防犯カメラや録画装置などの映像分野において新商品が好調であること、海外では昨年度から引き続いての地産地消の加速と販売網の拡大により、前年同期比で増収増益

・2019年3月期の業績見込みについては、配布した決算短信資料に記載の内容通り

2019年3月期 第2四半期の業績

(単位：百万円)



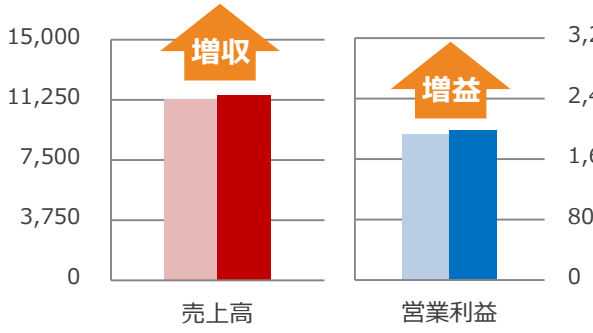
	2017.3月期 第2四半期	2018.3月期 第2四半期	2019.3月期 第2四半期	
■売上高	19,432	19,281	20,113	(4.3%)
■営業利益	744	853	1,182	(38.4%)
■経常利益	674	921	1,362	(48.0%)
■最終利益（注）	230	426	710	(66.4%)

（注）親会社株主に帰属する四半期純利益

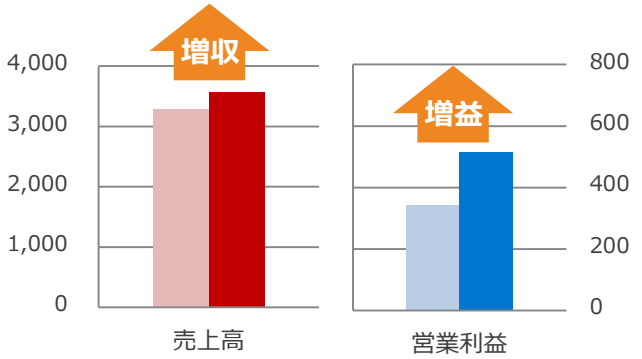
※%表示は対前年同期増減率

地域セグメント別　売上高・営業利益

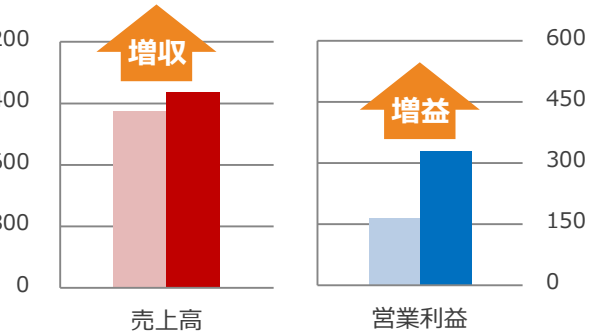
（単位：百万円）



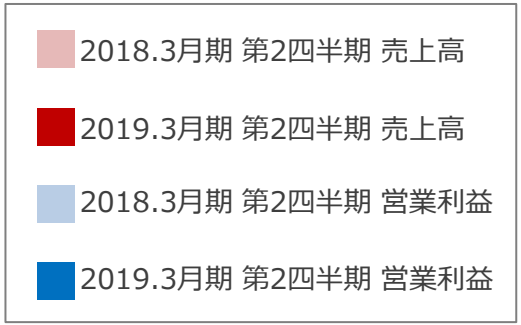
日本地域

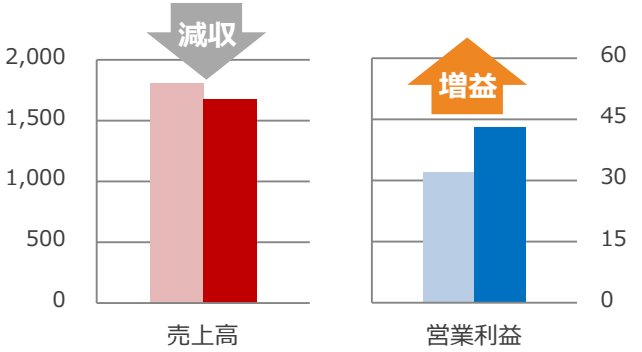


アジア・パシフィック地域

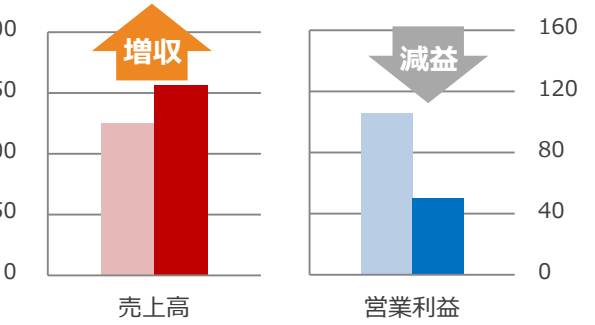


欧州・中東・アフリカ地域





アメリカ地域



中国・東アジア地域

貸借対照表／資産の部

（単位：百万円）

	2018.3月期 期末	2019.3月期 第2四半期
現金・預金	16,958	17,478
受取手形・売掛金	10,759	7,649
たな卸資産	9,083	10,065
その他流動資産	4,075	4,301
固定資産	16,949	17,352
合計	57,824	56,845

貸借対照表／負債・純資産の部

（単位：百万円）

	2018.3月期 期末	2019.3月期 第2四半期
支払手形・買掛金	3,906	2,883
短期借入金	852	1,317
その他流動負債	2,905	2,254
固定負債	4,374	4,683
負債合計	12,037	11,137
純資産合計	45,786	45,707
合計	57,824	56,845
自己資本比率	75.2%	76.3%

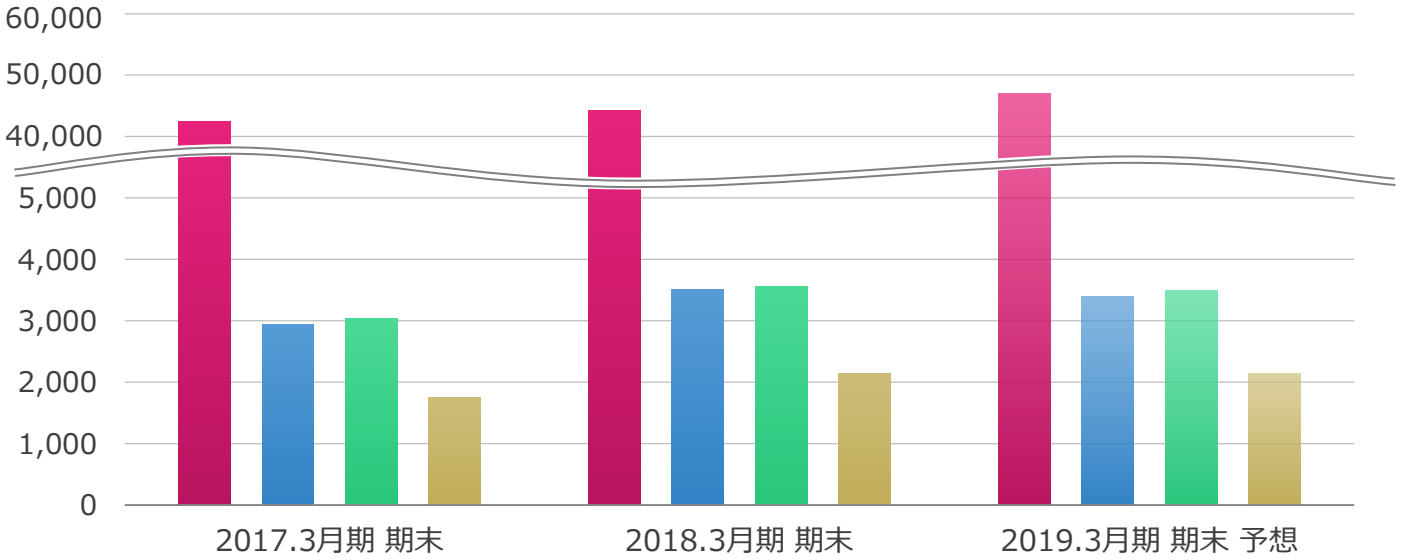
研究開発費・設備投資と減価償却費の推移

（単位：百万円）

	2018.3月期 第2四半期	2019.3月期 第2四半期
研究開発費	1,353	1,470
設備投資	354	365
減価償却費	430	499

2019年3月期　予想　売上高・利益

(単位：百万円)



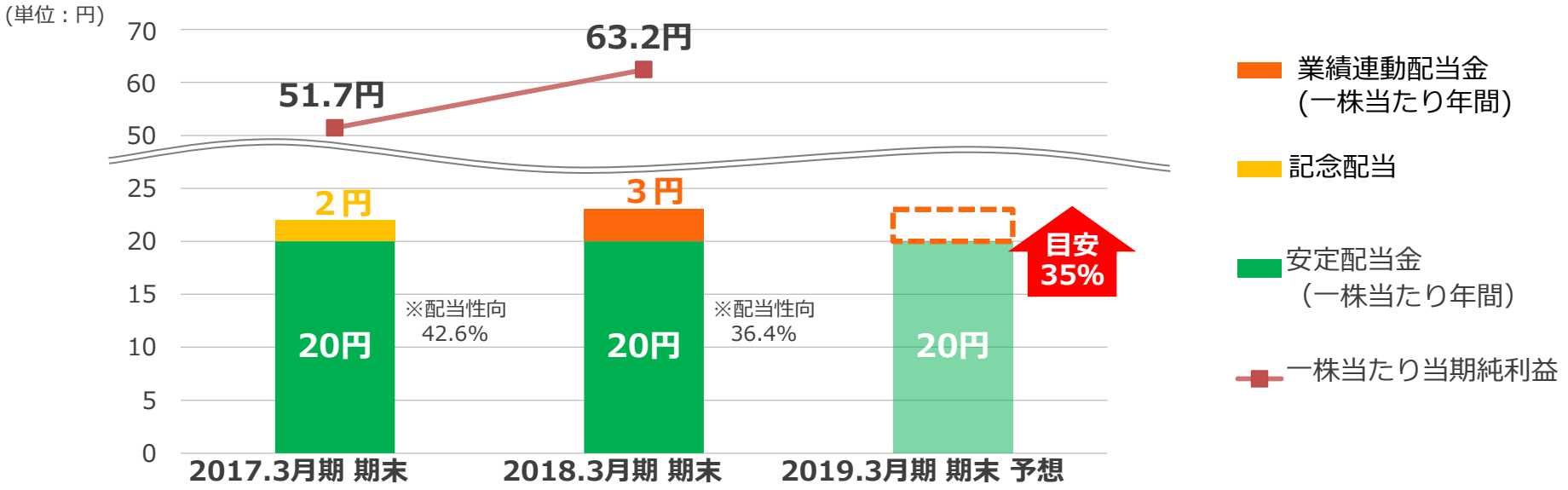
	2017.3月期 期末	2018.3月期 期末	2019.3月期 期末 予想	
■売上高	42,504	44,180	47,000	(6.4%)
■営業利益	2,935	3,510	3,400	(△3.2%)
■経常利益	3,040	3,561	3,500	(△1.7%)
■最終利益（注）	1,750	2,138	2,150	(0.5%)

（注）親会社株主に帰属する当期純利益

※%表示は対前年同期増減率

2019年3月期 予想 配当

連結配当性向35%を目安として業績連動配当を実施



配当については、以下の事項を総合的に勘案して決定する方針

- 年間 20 円（中間配当 10 円、期末配当 10 円）の配当については、今後も維持
- 最低額を20円/株とした業績連動配当の実施
- 持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを勘案

Smiles for the Public

中期経営基本計画と
2019年3月期 通期見通し

代表取締役社長 竹内一弘

企業価値

Smiles for the Public

―― 人々が笑顔になれる社会をつくる ――

「笑顔」とは、単なる満足を超え、人々に「安心、信頼、感動」という価値を
提供することで得られるもの。それを当社は、人々の集まりである
「社会」に対して実現いたします。

中期経営基本計画 骨子 ～事業領域～

Public Safety
－安心－

Public Communication
－信頼－

Public Space Design
－感動－

中期経営基本計画 骨子

お客さまの課題を解決し「安心」「信頼」「感動」の価値を提供し続ける

投資について

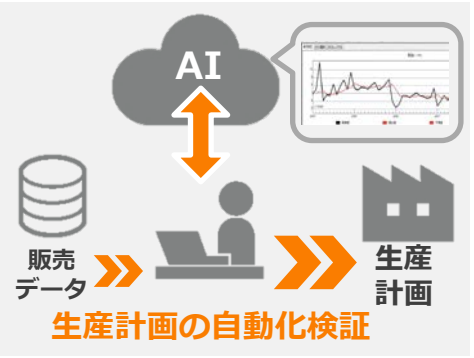
新たな価値を生み出していくための投資を積極的に実施

「働く環境・人材づくり」と「研究開発」

新しい価値を共に創り出す「共創の場」ナレッジスクエアを建設。
AIやIoTといった技術の進歩や社会的な環境変化など、
世の中の流れをいち早く捉え、グローバルな視点で
新しい市場価値や新たな文化の創造を目指す。

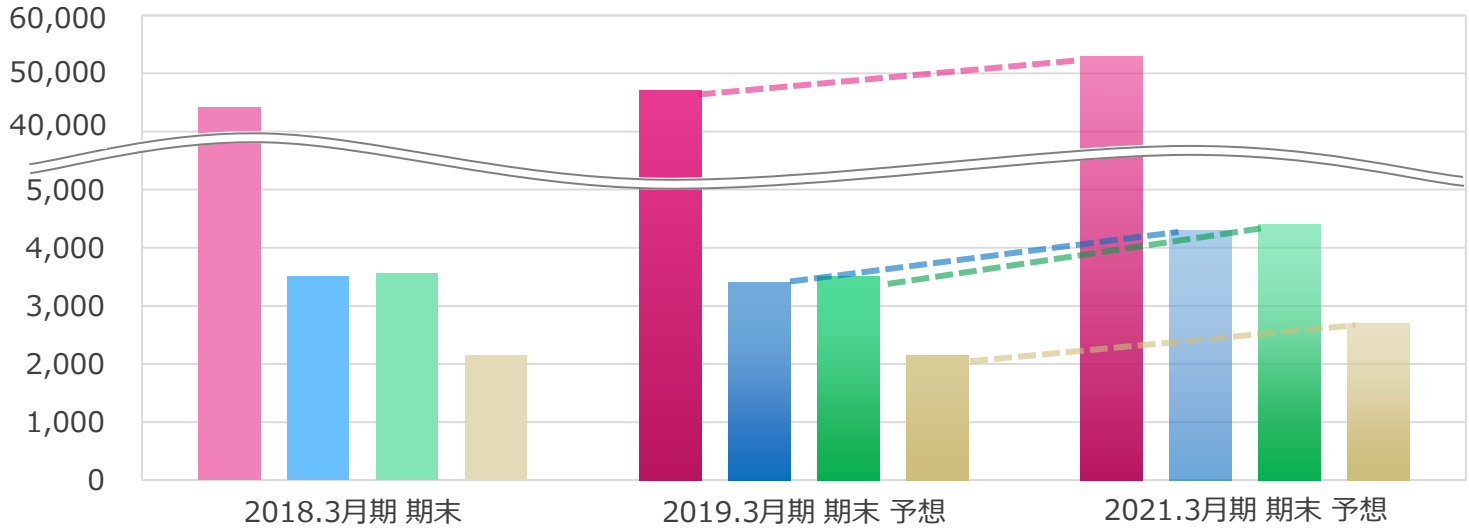
「情報システム」と「生産設備」

情報システム基盤の整備、および生産設備充実化を進める。
生産ラインでロボットが人と共に働くことのできる環境の試験や、
AIによる生産計画の自動化の検証を行い、生産性の向上を図る。



中期経営基本計画 数値目標 連結決算

（単位：百万円）



	2018.3月期 期末	2019.3月期 期末 予想	2021.3月期 期末 予想
■売上高	44,180	47,000	53,000
■営業利益	3,510	3,400	4,300
■経常利益	3,561	3,500	4,400
■最終利益（注）	2,138	2,150	2,700

（注）親会社株主に帰属する当期純利益

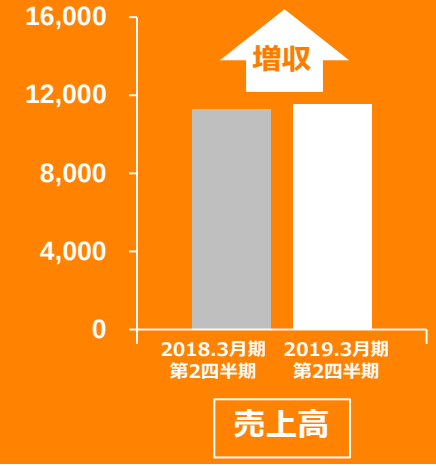
地域戦略

日本地域

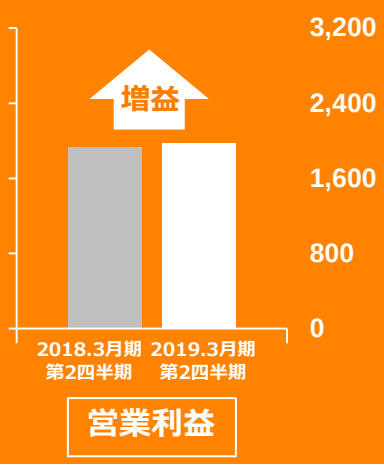
進捗

お客さまに密着した営業および エンジニアリング体制を構築 つながるビジネスモデルで利益を生み出す仕組みに

（単位：百万円）



売上高



営業利益

地域戦略

日本地域

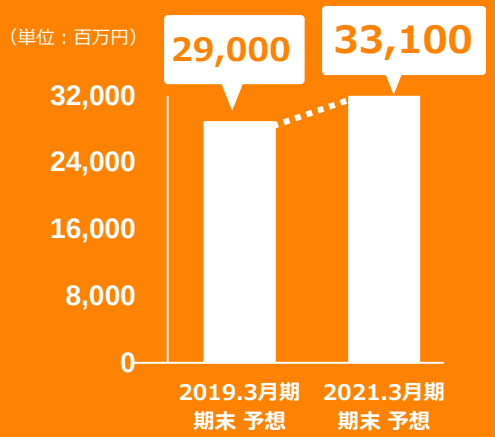
Public Safety | Public Communication | Public Space Design

展開

新商品の投入により商品ラインアップを拡充
多様なニーズに対応するシステムを実現

【多言語放送サービス】
訪日外国人が多く利用する交通インフラ、商業施設等で、音の専門メーカーならではのノウハウとサービスを実現。

【避難誘導システムの実現】
非常用放送設備 新シリーズを近日発売予定。案内表示版や映像機器とも連動させ、安全かつ確実に避難を誘導するシステムを展開。



省スペース化、大規模システムにも対応

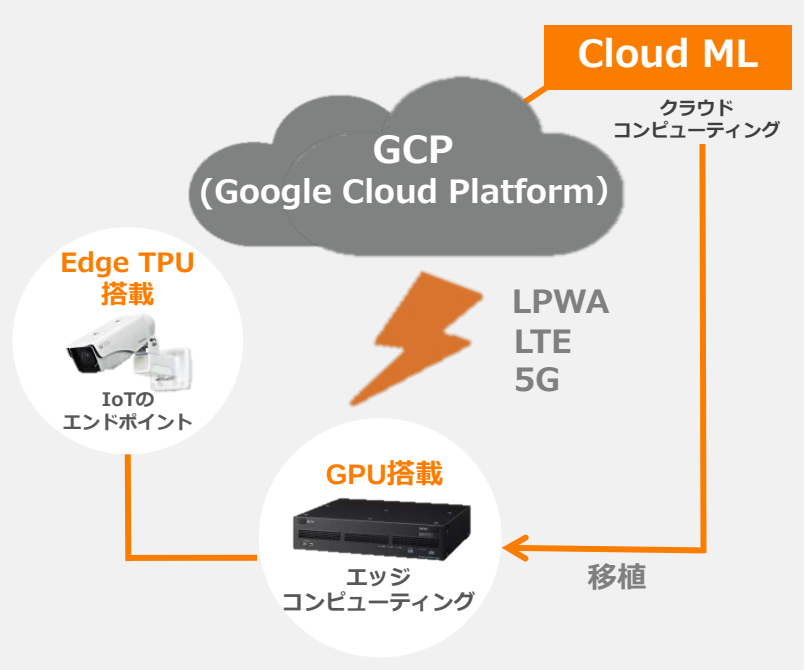
先端技術の活用

AIやIoTの技術活用

取組み

当社商品に人工知能や機械学習能力を搭載
高度なデータ分析で
多様化するニーズにお応えする

【新商品の開発】
Google Cloud Platformと連携し、
当社のカメラやレコーダーに、人の目や脳の
代わりになる新たな機能の搭載を目指す



先端技術の活用　映像によるセンシング技術の活用

取組み

カメラやレコーダーに人工知能や機械学習能力を搭載することで映像によるセンシングを目指す

【映像によるセンシング技術の活用例】

・工場で、遠隔地の設備に異常が発生しそうになったことを事前に自動検出し、知らせることで、設備稼働率の向上に貢献

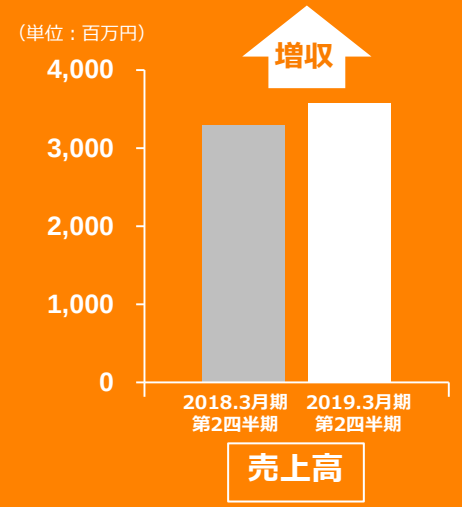
・自動で河川の水位上昇に伴う近隣住民への緊急放送を行う、農地に侵入した害獣の威嚇を行う

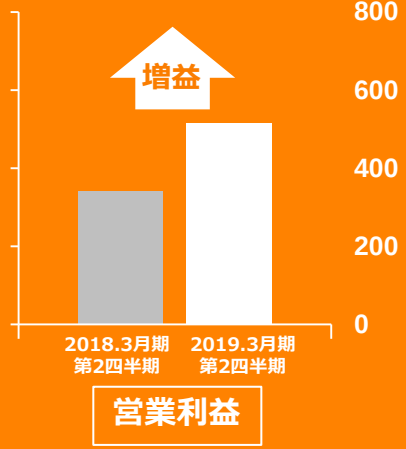
地域戦略

アジア・パシフィック地域

実績

開発・生産・販売機能を域内に持つことを強みに 地産地消ビジネスをさらに加速





地域戦略

アジア・パシフィック地域

Public Space Design

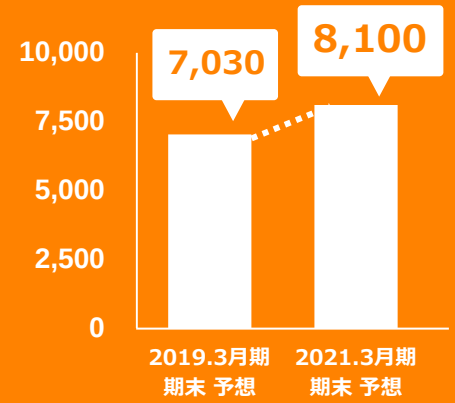
展開

交通インフラ市場への仕様活動を進める他、地域商品の拡販に注力

【高品位な音響システム“良い音PA”をPR】

8月に開催されたアジア大会メインスタジアムへ音響システムを納入。地域におけるTOAブランドが大幅に向上。現在、同様のスタジアム案件の受注も進んでおり、販売実績を重ね、販売拡大を狙う。

（単位：百万円）

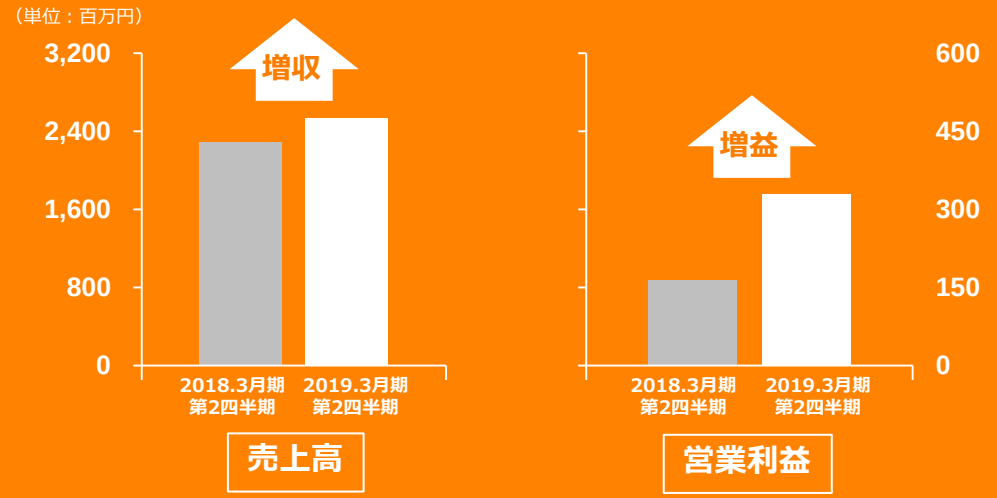


地域戦略

欧州・中東・アフリカ地域

実績

非常用放送システムの販売が好調
サブサハラ地域の販路拡大にも取り組み実績拡大



非常用放送システム
VX-3000

地域戦略

欧州・中東・アフリカ地域

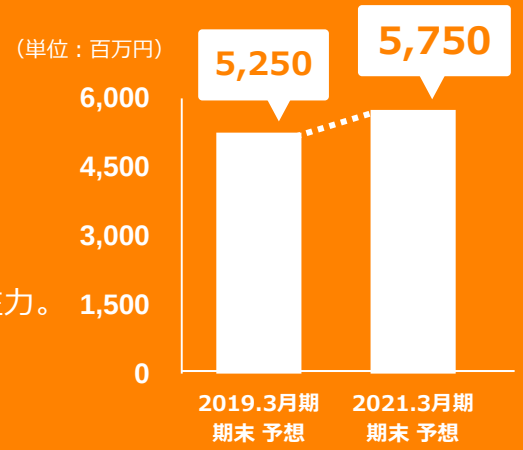
Public Safety | Public Communication

展開

ドイツ、フランスを中心に IPインターカムや非常用放送システムの 拡販に取り組む

【壁掛型非常用放送システム を新発売】

同システムの販売強化を狙い、
設備設計業者に対する提案活動に注力。



欧州における空港市場の開拓にも注力

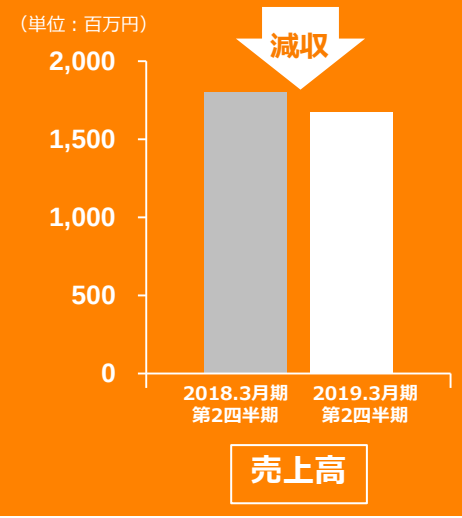
新 壁掛型
非常用放送システム

地域戦略

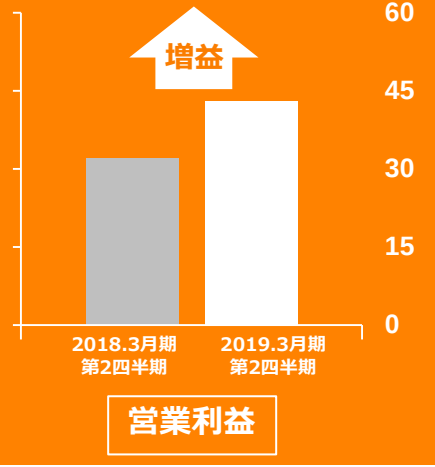
アメリカ地域

実績

市場調査活動から生まれた 新マイクシステムを新規開拓市場へ提案



売上高



営業利益

地域戦略

アメリカ地域

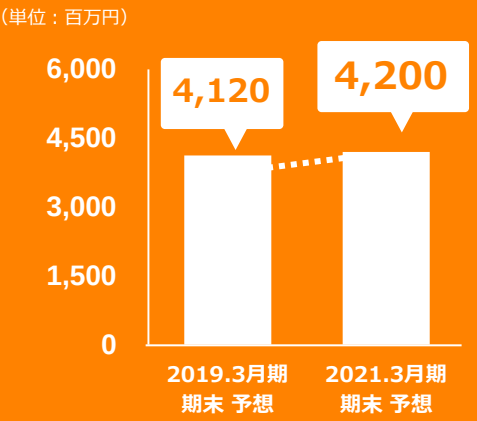
Public Communication　Public Space Design

展開

ターゲット市場に対して新商品を投入する他
交通インフラ市場では
アフターマーケット需要の獲得に注力

【ターゲット市場】
会議システム、商業施設・店舗の
BGMシステム、教育市場に対し
新商品を継続的に投入。

【交通インフラ市場】
受注した案件の確実な納入と
アフターマーケット需要の獲得により
利益が得られる体制づくりに注力。

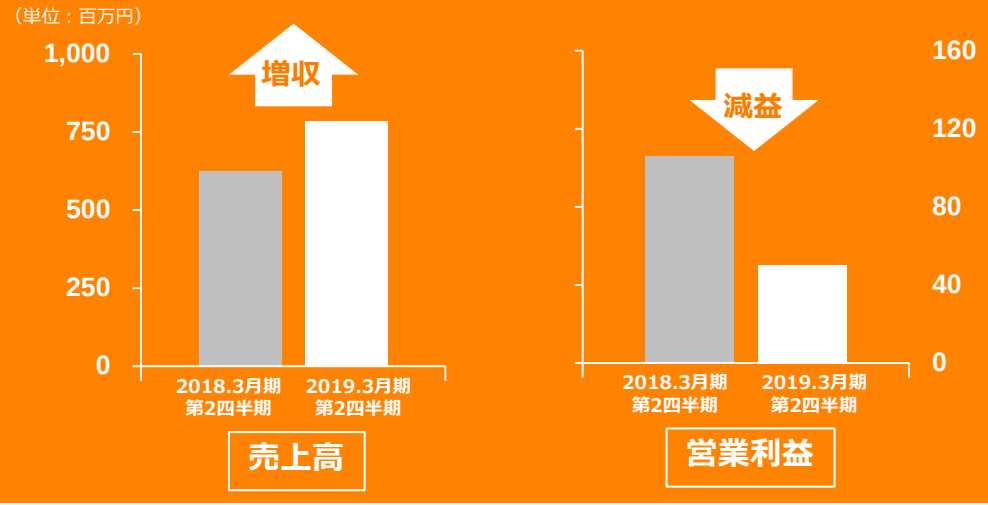


地域戦略

中国・東アジア地域

実績

新規流通開拓が順調に推移し販売拡大
IT社会への対応にも注力



お取引様向け個別セミナーを開催

IPネットワーク型放送システム
IP-1000

地域戦略

中国・東アジア地域

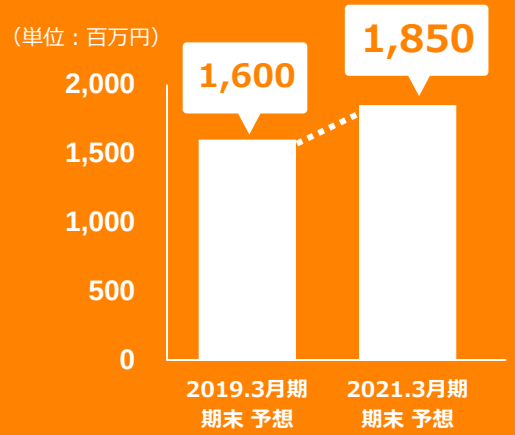
Public Safety　Public Communication

展開

ネットワーク型放送設備を強みに市場を開拓
域内での独自のソリューションを提案・提供

【ネットワーク型放送設備で市場開拓・拡大】

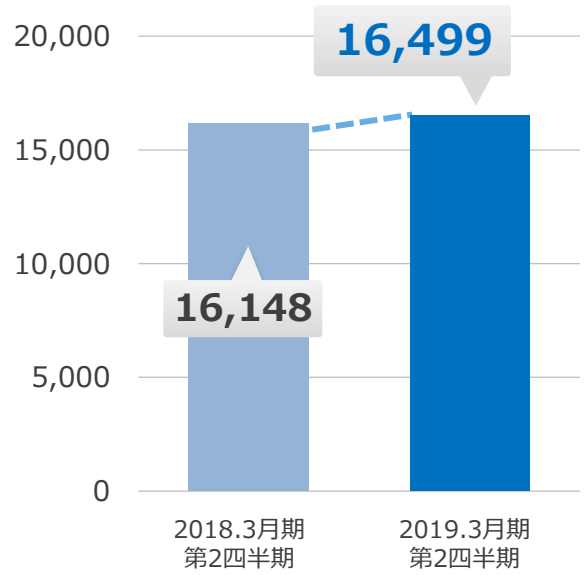
交通インフラ市場や学校市場への開拓・拡大を進めるとともに、Webを活用した販売や価格的な流通戦略、販促活動を実行。



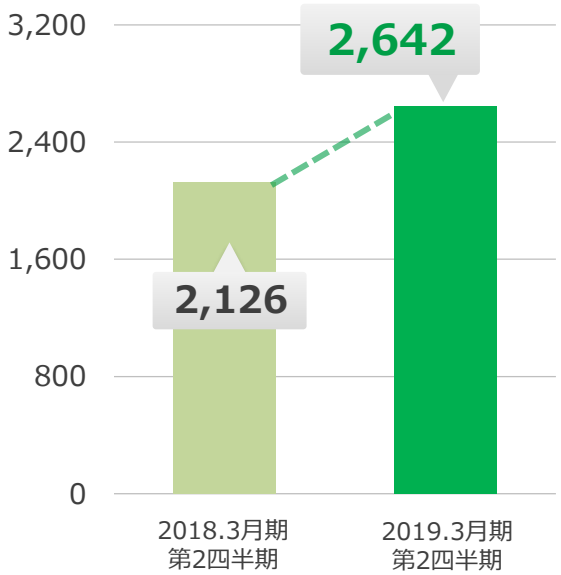
第2四半期 売上数値 商品分野別

音 響（その他含む）

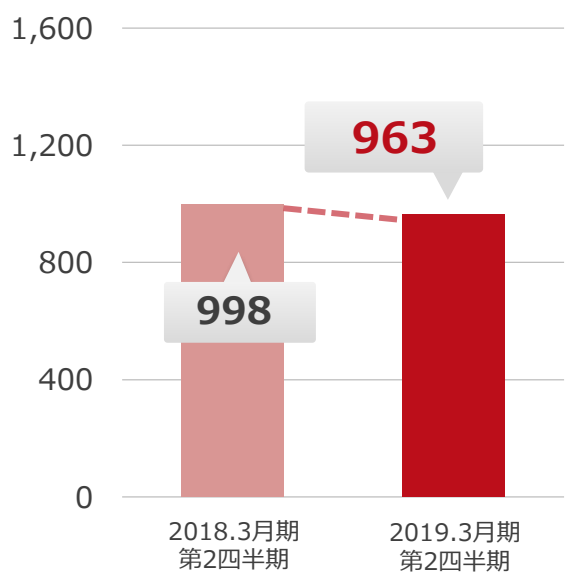
売上高
（単位：百万円）



映像



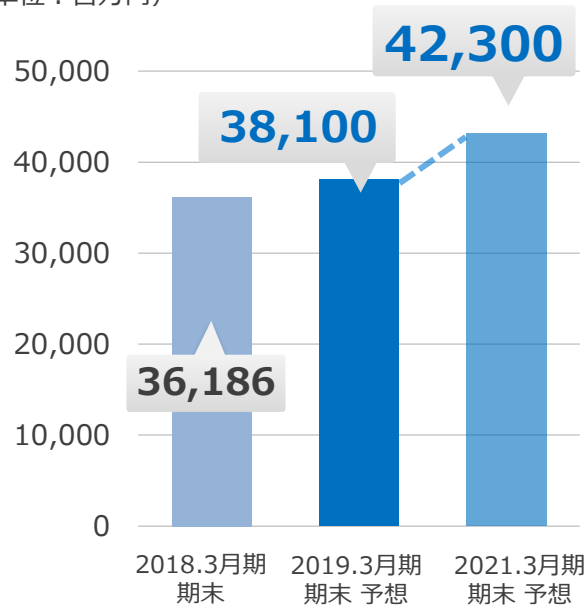
鉄道



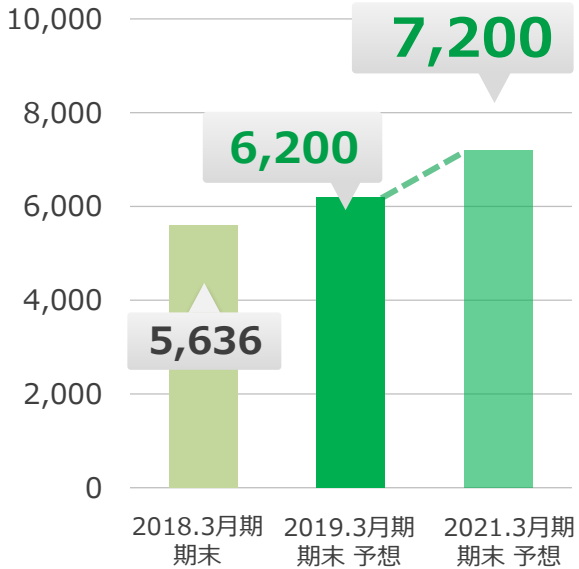
中期経営基本計画 数値目標 商品分野別

音響（その他含む）

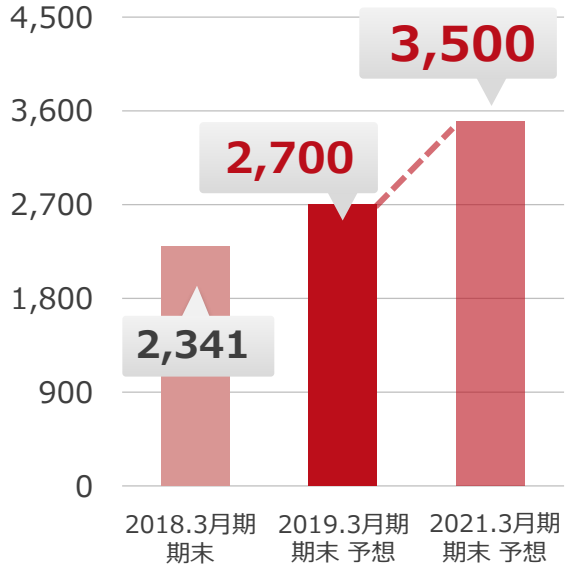
売上高
（単位：百万円）



映像



鉄道



持続的な企業価値向上に向けた取り組み

【コーポレートガバナンスの充実】

・全てのステークホルダーとの対話を促進、
迅速かつ適切なディスクロージャーを実施

・今年度、社外取締役をさらに1名招聘し、複数体制へ

・2018年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードに
対応した報告書を提出済

【働き方改革】

・テレワーク導入の検討やフレックス勤務制度の見直し等
「働き方改革」を推進。意欲を持って働くことのできる
環境づくり、人材育成に投資

TOA
Smiles for the Public